

東洋大 4-1 駒大

1回戦

11年春季リーグ
第4週・4月26日
0勝1敗

1部優勝への天王山、



3回、唯一の打点を挙げた嘉数駿



5回終了後、苦い表情を浮かべ、ベンチに下がる白崎勇

初戦を落とす…



ドラ1候補の前に13三振

初回、好機で三振に倒れた白崎勇



初登板ながら三者凡退に抑えた竹野

東洋大	0	10	021	000	4
駒大	0	01	000	000	1

[駒大]	打安点
④小林	4 1 0
⑧嘉数駿	3 2 1
⑥岡	4 0 0
⑤白崎浩	4 0 0
⑨友滝川	3 0 0
PH平	1 0 0
⑦山下	2 0 0
DH江越	3 0 0
②戸柱	3 2 0
③増本	1 0 0
PH奥野	1 1 0
PR松尾	0 0 0
3下川	0 0 0
計	29 6 1

▽二塁打=戸柱

	回	打安責
●白崎勇	5	24 6 3
栗林	1/3	3 0 0
小倉	1	2/3 7 1 0
野村	1	3 0 0
小竹木	1	5 1 0

第三節目の相手は好投手・藤岡貴裕(4年II桐生)を擁する東洋大。試合は3回に嘉数駿(政4)の左前適時打で追い付くが5回に勝ち越され、6回にも1点を失い試合を決定づけられた。打線は終盤3回で8三振と相手投手の前に完全に抑え込まれ、黒星を喫した。

両チームの先発は今秋のドラフト候補というところもあり注目が集まる一戦となったが、先発・白崎勇気(営4)は5回で降板。「1部復帰即優勝」のための天王山となる試合で結果を残すことができなかった。

この一打で勢いづきたかったが、4回以降は3安打と沈黙。さらに終盤3回は8三振と完全に抑え込まれ、反撃の糸口すらつかめなかった。小椋正博監督は「(藤岡は)やっぱりピッチャーの質が違う」と話すと同時に「フォアボールを出さない」と駒大投手陣との違いも指摘した。明日は投手陣の出来はもちろんだが、打線が火を吹くのかもカギとなる。

両チームの先発は今秋のドラフト候補というところもあり注目が集まる一戦となったが、先発・白崎勇気(営4)は5回で降板。「1部復帰即優勝」のための天王山となる試合で結果を残すことができなかった。

この一打で勢いづきたかったが、4回以降は3安打と沈黙。さらに終盤3回は8三振と完全に抑え込まれ、反撃の糸口すらつかめなかった。小椋正博監督は「(藤岡は)やっぱりピッチャーの質が違う」と話すと同時に「フォアボールを出さない」と駒大投手陣との違いも指摘した。明日は投手陣の出来はもちろんだが、打線が火を吹くのかもカギとなる。

写真II橋本圭史
丸山翔太
水出綾香
文II野木聡介